

J-74

J-74 アクアフィルム

コンクリート乾燥遅延剤/コテ仕上げ助剤 (濃縮液)

J-74「アクアフィルム」は、打設したコンクリート表面からの水分蒸発のロスを最小化する為に設計されたユニークな乾燥遅延剤です。有機成分を配合された専売特許のエマルジョン(乳剤)により、コンクリート内の水分蒸発を早める気象状況(高温、強風など)のもと、直押え仕上げ時間を稼ぎ、コンクリート表面の乾燥に伴うクラックを防止します。乳剤に含まれている退色性の青い染料により、散布場所が明確に分かり、この色は乾燥とともに自然消滅します。J-74「アクアフィルム」は、原液1に対して上水9で希釈しますので非常に経済的であり、他社の乾燥遅延剤に比べ、大幅なコストダウンが可能です。また、水溶性で無臭、VOC(揮発性有機化合物規制)対応品ですので環境に安全な製品です。

用途

- コンクリートの水分蒸発を抑制する乾燥遅延剤
- 急な乾燥時、金ゴテ直押え仕上げの時間を稼ぐ効果
- コンクリート表面の収縮クラック防止
- マスコンクリートのヘアークラック防止

施工場所

- コンクリート面仕上げ時に水分が蒸発することを大幅に抑制することにより、蜜で高品質なコンクリートを作り出す手助けを行います。

通常の状態であれば乾燥収縮クラックが発生する期間にこの水分蒸発を抑制することにより、その間に適切な仕上げが可能となります。

J-74「アクアフィルム」は以下のような急速な乾燥条件の際に効果を最大限に発揮します。

- 気温が高い時
- 湿度が低い時
- 強風の時
- 直射日光を受ける時
- 冬場の建物内コン打ちで、内部で暖房を使う時
- 低い水セメント比のコンクリート/高強度コンクリートの時
- 低スランプの固いコンクリートの時
- 粉末散布型のハードナーや表層仕上げを行う場合
- シリカフェームや超可剤が要求されるコンクリートの時

施工面積

原液1缶(5ガロン=19リットル)を水で希釈(原液1:水9)。この原液1缶(希釈後50ガロン=190リットルの溶液)で約930~1,860m²の施工が可能。
(希釈後の溶液で約5~10m²/リットルの施工が可能)

梱包容量

- [施工に便利な2種類]
- 5ガロン缶 (19リットル)
 - 55ガロンドラム缶 (208リットル)

*写真は5ガロン缶です。



特長/利点

● ユニークな有機成分配合のエマルジョン(乳剤)

- 専売特許取得の有機成分配合の乳剤
- この乳剤がコンクリート表面に膜を形成し、コンクリートの水分蒸発を防ぐタイプの乾燥遅延剤で、抜群に効果を発揮。この膜は役目を果たすと自然消滅します。

● 使って納得!の優れた乾燥遅延効果

- 高温、乾燥、強風状態の時に優れた施工性を確保
- 直押えを始める前に硬化がすでに始まってしまうようなタフな状態を防ぎます
- 高温、乾燥、強風時にコンクリート表面がかさぶたの様に固まるのを減少、消滅
- 粉末散布型ハードナー施工時に、蒸発を抑制してさらなる時間稼ぎが可能

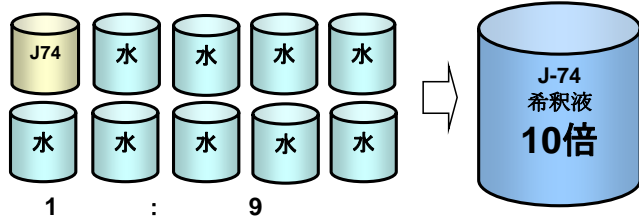
● 左官工不足の際の応急措置に最適!

● 収縮クラックを削減・消滅

- 高品質コンクリートの確保

● 水で10倍に希釈するので非常に経済的

- 原液1に対し、上水9の比率で希釈して使用
- 驚くべき経済性で、コスト削減に貢献



● 取扱い、準備、ミックス、施工が簡単

- 水性なので水との希釈も簡単
- コンクリート打設時に、左官業者にて噴霧またはジョーロで散布するだけ
- 左官一人当りの施工可能面積が増え、生産性も向上
- 退色性を持つ青い染料が含まれているので、どこに散布したかが見て分かり役目を果たすと自然消滅

● 水性で無臭、無害

- 水性ポリマーで、臭いもなく安全
- VOC(揮発性有機化合物規制)対応品なので環境にもやさしい製品

- 乾燥後膜は自然消滅するので、後に使うシーラーや仕上げにも一切影響なし
- コンクリート自体の強度・耐久性を妨げる働きは全くありません

J-74

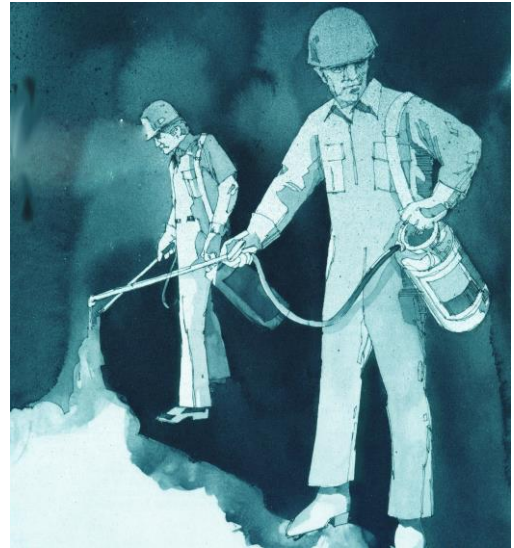
J-74 アクアフィルム

コンクリート乾燥遅延剤（濃縮液）

施工手順

☛ 簡単施工で優れた効果！

- ❶ 木ゴテ均しの後直ちにJ-74「アクアフィルム」散布を行います。
- ❷ まず、水で希釈する前に、J-74「アクアフィルム」を攪拌しておきます。
- ❸ 希釈は、洗浄した別の容器を用い、きちんと計測して下さい。
- ❹ 原液1に対し、上水9で希釈します。J-74の1缶（5ガロン=19リットル）を170リットルの水で希釈（原液1：水9）して使用します。原液1缶に対し希釈後50ガロン（189リットル）の溶液が出来ます。
これで約930～1860m²散布出来ます。（施工面積：リットル当り4.9～9.8m²）
*J-74は濃縮液ですので、希釈率は厳守して下さい。
- ❺ 噴霧器かジョーロを使い、均等にコンクリート表面に撒きます。
- ❻ J-74「アクアフィルム」には青い染料が含まれていますので、撒いた場所がはっきり分かります。この色は乾燥後自然に消えます。
- ❼ 乾燥状態の激しい場合、仕上げ作業の間に再度J-74「アクアフィルム」を散布しても構いません。
- ❽ カラーハードナー（粉末）施工時に使用する場合はカラー粉末を散布した後J-74「アクアフィルム」を散布して下さい。ブリージングによって生じる表面水の中には散布しないで下さい。



注意事項

- J-74「アクアフィルム」は養生材ではありませんので、J-74の散布後でもコンクリートの養生は必要です。（これは日本製品を使っても同じことです。）
- J-74「アクアフィルム」を凍結させないように保管して下さい。
- 硬化後のコンクリートにJ-74「アクアフィルム」を溢してしまった場合は、速やかに拭取り、水で洗い流して下さい。
- J-74「アクアフィルム」はコンクリート表面の遅延反応剤ではありません。
- 最終金ゴテ押さえの段階での使用は、変色を防ぐために避けて下さい。
- J-74は青色の液体（退色性染料）なので、散布した場所がはっきり識別できます。この色は乾燥過程で自然消滅します。
- 室内で施工する場合は十分に換気を行って下さい。
- 施工の際は適切な作業着、保護手袋、保護メガネなどをご着用下さい。
- ジョウロや噴霧器（J-68）、スプレーガンで施工した後は必ず器具を水で十分洗い流して下さい。
- 眼や皮膚を刺激しますので、付着しないよう気をつけて下さい。衣類への付着もご注意ください。施工後は十分に洗浄、洗濯して下さい。
- 眼に入った場合、速やかに水で洗い流し、最低15分は洗眼を行って下さい。洗眼後直ちに医者に診てもらって下さい。

保管方法

- 未開封の缶は直射日光を避け、室内に保管される場合、保管期間は、製造日から1年です。
- 使わないときは、原液缶の蓋をキチンと締めて涼しい日陰に保管して下さい。
- 原液は凍結させないようにご注意ください。

物質データ

成分	有機化合物乳剤
外観	青色液体
沸点	100°C
引火点	該当せず
自動点火	製品自体の点火なし
爆発の危険性	なし
20°Cでの蒸気圧	23.0 hPa (17 mm Hg)
20°Cでの密度	1.0 g/cm ³
水との溶解性	完全に混和
溶剤含有量	有機溶剤： 0.4% 水： 97.0 %
固体含有量	2.0 %

【お問合せ】

光が丘産株式会社
東京都練馬区高松5-8-20 J.CITY17F
電話番号： 03-5372-4614
FAX番号： 03-5372-4626



J-74「アクアフィルム」 コンクリート乾燥遅延剤

☛ コンクリート表面水分蒸発量算出グラフの使い方

一般的に乾燥収縮クラックは蒸発量が $1\text{kg}/\text{m}^2/\text{時間}$ 以上となった際に発生します。

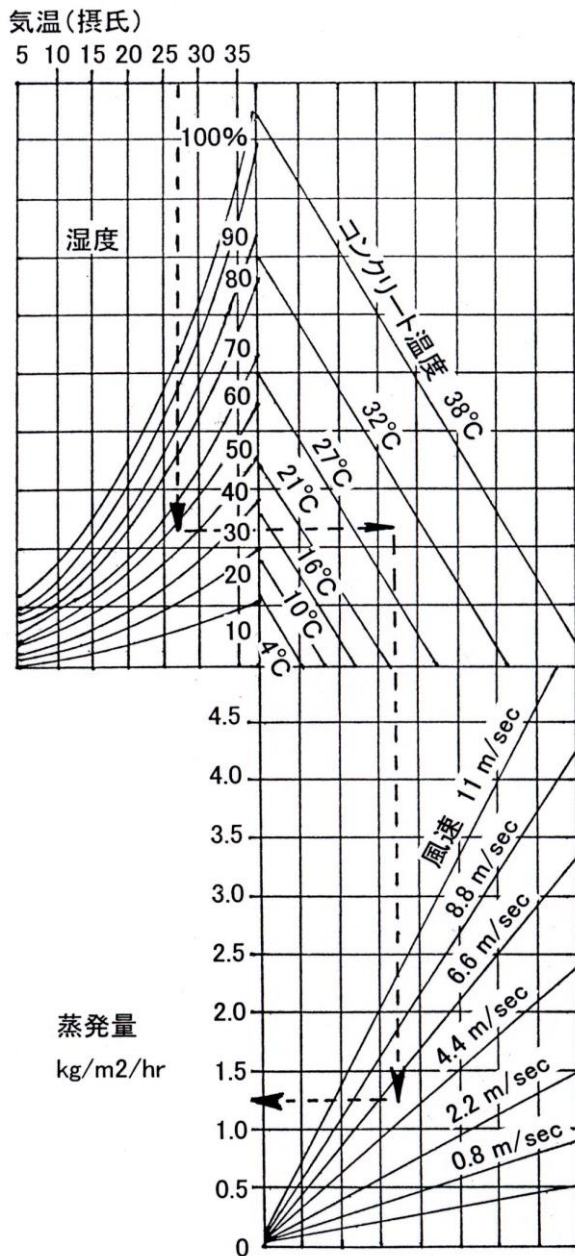
コンクリート表面の水分蒸発量は、風速・湿度・気温およびコンクリート自体の温度の影響を受けます。この表は各種の気候条件に対する水分蒸発量を概算で算出するためのグラフです。

以下の4ステップに従って水分蒸発量を確認して下さい。(表の矢印の方向に沿って進んで下さい。)

- ❶ 気温を入れ、関連する湿度のところへ持って行く。
- ❷ 右へ動かし、コンクリート温度へ合わせる。
- ❸ 下へ動かし、風速に合わせる。
- ❹ 左へ動かし、概算の蒸発量 ($\text{kg}/\text{m}^2/\text{時間}$) を確認する。

蒸発量が、 $1\text{kg}/\text{m}^2/\text{時間}$ 以上になったら乾燥収縮クラックに対する対処が必要です。

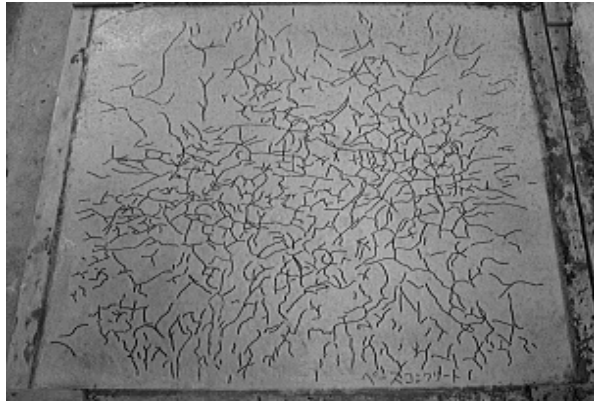
乾燥収縮クラックを防止するために、J-74「アクアフィルム」をお使い下さい。



1. ひび割れ発生抑制効果(急激な乾燥による収縮ひび割れの低減)

大きさ1000×1000×150型枠にコンクリートを打設し、一昼夜扇風機で強制乾燥させた後のひび割れ発生状況

ひび割れ確認試験(ベースコンクリート)



ひび割れ確認試験(アクアフィルム)

